

* 塚教会 CS 新聞「いずみのひろば」は家族の人と一緒に読んで下さい。

いずみのひろば

2018年11月号
日本基督教団塚教会
No.480 教会学校

「大宴会のたとえ」

ルカによる福音書 14 : 15 - 24

ある国の王様がパーティを開きました。

王様は、たくさんの人たちに来てもらいたくて、招待状を作りました。

「〇月〇日、お城でパーティをします。ぜひみんな来てください。主様より」
招待状は召使たちに配らせました。

王様はどんなパーティにしようかといろいろ考えました。「まず、みんなが見たこともない豪華
でおいしい料理を用意しよう！」

つぎに「お城の中をすみからすみまで、きれいなお花で飾ろう！」

それから「楽団を呼んで、楽しい音楽を演奏させよう！」

王様は楽しくてうきうきしながらパーティの準備をすすめました。召使たちも楽しみにしていました。

そしていよいよパーティの日が来ました。朝から王様はそわそわ落ちつきません。

たくさんのお客の中から、一番きれいなキラキラの服を着ておしゃれをしました。

パーティの準備がほとんど出来たころ、召使たちがお客さまを迎えに出て行きました。

王様がわくわくして待っていると、召使たちが帰って来ました。でも何か変です。

「王様たいへんです！用事ができて来れない人や、わすれていた人や、パーティに行けないこと
わる人たちがいっぱいいます。」

「なんだって！」王様は悲しくなりました。いまさら中止になんてできません。

「みんな急いで町の広場にでて行って、貧しい人や体の不自由な人たちを連れて来ておくれ！」

「主様、おっしゃるとおりにしましたが、まだまだ席が空いております。」

「ではもう一度、町に出て行って道にいる人たちを無理やりでも連れて来ておくれ！」

このお話はイエスさまが語られた天国についてのたとえ話です。

ある国の王様とは、神の国にいらっしゃる神さまのことです。

神さまは、世界中の人たちを神の国のパーティに招こうとしていらっしゃいます。

そして、イエスさまと言う招待状をこの世に与えて下さいました。

だれでも、神の国のパーティに行くには招待状なしには行くことは出来ません。

招待状をもらったのに、いろんな理由を作って王様のパーティに行かなかった人たちがいました。
みんなもイエスさまのことを忘れ、てしまうと、神さまはとても悲しまれます。

いつも、心の中のポケットにイエスさまと言う招待状が入っていることを忘れないで
いてください。そして、どんな時も私たちは神さまから守られていることも！

(おはなし 玉置幸代先生)